

この度は、IG503NE: タップ式チューブノズルツール (日野/N04C 用) をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用前には内容品の確認と使用時における注意事項を熟読頂き、ご理解の上ご使用くださいますようお願い致します。
また、各作業車両毎にメーカーの整備要領書をご用意して頂き、注意事項などはメーカーの指示に従って作業を行ってください。

【適合】

エンジン型式：N04C

チューブノズル純正番号：S1117-61200

内容品と名称



型式	製品名	要数
IG-503NE-01	アタッチメント /NE 用 (N04C)	1
IG-503NE-02	本体カバー /NE 用	1
IG-503NE-03AB	フランジ /NE 用	1
IG-503NE-04	ポンチ A/NE 用	1
IG-503NE-05	ポンチ B/NE 用	1
IG-503NE-06	ポンチガイド /NE 用	1
IG-503NE-07	巻上ナット /NE 用 (M14xP1.5-h22)	2
IG-503NE-08	M14 座金 /NE 用	2
IG-503L-04	巻き上げボルト (L,J,K,N,NE,O 共通)	1
IG-503-14	巻き上げナット M12 × P1.5-h19 (共通)	1
IG-503-15	M12 座金	1
IG-503-45	ボルト M8 (I,E,O,N,NE 共通)	1

【注意事項】

- 作業中、ツールの先端が燃焼室内に少し出ますので、作業シリンダー内のピストンが上死点にならないよう、クランク位置を調整して作業を行ってください。
- ネジ部および可動部にはモリブデングリスを切らず塗布してください。※故障を招きます。
- 巻き上げナット (IG-503-14) が重要です。作業時に入れ忘れると、アタッチメントとポンチが取れなくなります。
- 使用方法の不良によるトラブルは、一切責任を負いかねますのでご注意ください。

ノズルチューブの抜き取り

①



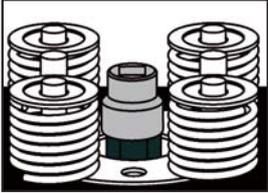
1. アタッチメントの装着

- (1) ノズルチューブにポンチなどを使用して、プラスチックハンマーでショックを与える。
※固着を剥離する
- (2) 本体アタッチメントの先端ネジ部にグリスを薄く塗る。
※切粉を燃焼室に落下させない
- (3) ノズルチューブにアタッチメントを入れる。

用意するもの

- ・ラチェットハンドル
- ・22mm ソケット
- ・適当なグリス
- ・ポンチ等
- ・プラスチックハンマー
- ・19mm メガネ, スパナ (2本)
- ・ドライバー

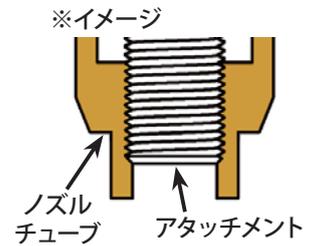
②



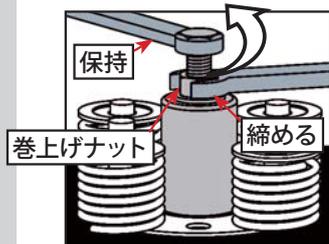
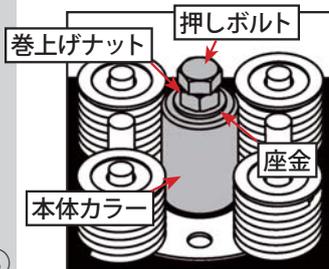
2. タッピング

- (1) 22mm のソケットをアタッチメントにセットする。
- (2) 上から押しながらアタッチメントを回転させる。(タッピング作業)
- (3) アタッチメントをノズルチューブにしっかり食い込ませる。

※ノズルチューブと一緒に回り出すまで目安



③



3. 抜き取り

- (1) 本体カラーをアタッチメントにかぶせる。
- (2) 押しボルト Assy (押しボルト + 巻上げナット + 座金) をセットする。
※巻上げナット・座金を入れ忘れ無い事
ナットは十分にねじ込んでおく事
ネジ部にはグリスを切らさない事
- (3) 押しボルトを軽くとまるところまでねじ込む。
- (4) 押しボルトを保持する。(メガネ 19mm)
- (5) 巻上げナットのみ締め込んでいく。(スパナ 19mm)
- (6) ノズルチューブが引き上げられる。

④



4. アタッチメントを外す

- (1) 抜き取ったノズルチューブごとバイスに固定する。
- (2) アタッチメントを逆転方向へ回し、抜き取る。

ノズルチューブの組み付け

①

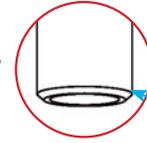


1. ノズルチューブの装着

※作業前に、各作業車両毎にメーカーの整備要領書を用意し、注意事項などはメーカー指示に従って作業を行ってください。

- (1) 新品のノズルチューブと O リングを組み込む。
- (2) ポンチガイドを使い、ノズルチューブを定位置まで叩き込む。

※ポンチガイドはテーパ部を下にする事

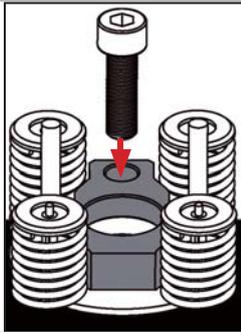


テーパ部
ポンチガイド先端部

用意するもの

- ・スチールハンマー
- ・12mm メガネレンチ
- ・6mm 六角レンチ
- ・17mm スパナ
- ・22mm スパナ

②



2. フランジの固定

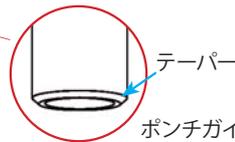
- (1) ボルト (IG-503-45) を使用し、フランジをシリンダーヘッドへ固定する。(6mm 六角レンチ)

③



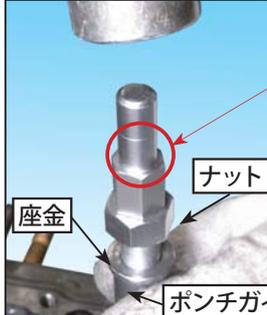
3. ノズルチューブのカシメ

- (1) ポンチガイドを入れる。 ※ポンチガイドはテーパ部を下にする事



テーパ部
ポンチガイド先端部

- (2) ポンチ A [赤丸部ミゾ 1 本] の先端にオイルを塗ってからセットする。



オイルを塗る事



スキマがあると突出し不足になる

※巻上げナットを締め込んでおく事
座金を入れ忘れ無い事

危険

巻上げナットやワッシャーが無い状態で使用すると、エンジン側が壊れるので注意する事

- (3) スチールハンマーでポンチを最後まで (止まるまで) 打ち込む。

- (4) ポンチを固定して巻上げナットを締め込んでいくとポンチが外れる。

※ポンチが供回りしないように注意する事

- (5) ポンチ B [ミゾ 2 本] に入れ替え、同じ作業を行う。

※必ずポンチ A → ポンチ B (ミゾ 1 本 → ミゾ 2 本) の手順でカシメる事

